

京山作  
國貞画

わん久め  
が〜



下編

壬申春

田舎

遠 2378 26

○永壽堂藏書目錄

江戸馬喰町二丁目角

西村屋

新改御江戸繪圖一面

彩色摺大形 無彩色中形 小形 毎月

諸街大名街故瓦街屋敷街旗本街屋敷其外町改正再版仕

式子内親王家集

全三冊

觀音和談抄

普門品 訓讀入

百姓往來豐年藏

中本 大本

續百姓往來太平樂中本

而加附庭訓往來大本

同 御成敗式目大本

新編塵劫記備用集成再版仕

篆隸千字文

八體 傍訓

郡花百人一首

北尾紅翠齋筆 頭書三階板

近道子寶

手本向大字 寺澤流

卷之七



さるやうにわんくかひりあ  
お袖のくまのおまじりや  
縁や小八おまじりや  
づゝひまねろとろろ天律  
むゝとかこまじり日とろ  
こゝとちりあかこの物ゆ  
ひちうのちうちうちと  
天八んぼのらんんおかけ  
のちりるむむとちと  
ゆゑとちひひりり川へ  
こびてみまじりりりり  
くらまらぶゆのまじりの中へ  
まらまらまらまらまら  
ひりりりりりりりりり  
さるやうにわんくかひりあ  
お袖のくまのおまじりや  
縁や小八おまじりや  
づゝひまねろとろろ天律  
むゝとかこまじり日とろ  
こゝとちりあかこの物ゆ  
ひちうのちうちうちと  
天八んぼのらんんおかけ  
のちりるむむとちと  
ゆゑとちひひりり川へ  
こびてみまじりりりり  
くらまらぶゆのまじりの中へ  
まらまらまらまらまら  
ひりりりりりりりりり  
さるやうにわんくかひりあ  
お袖のくまのおまじりや  
縁や小八おまじりや  
づゝひまねろとろろ天律  
むゝとかこまじり日とろ  
こゝとちりあかこの物ゆ  
ひちうのちうちうちと  
天八んぼのらんんおかけ  
のちりるむむとちと  
ゆゑとちひひりり川へ  
こびてみまじりりりり  
くらまらぶゆのまじりの中へ  
まらまらまらまらまら  
ひりりりりりりりりり



女松お  
そのせ  
お松

つぼえ  
あつた  
あつた  
あつた

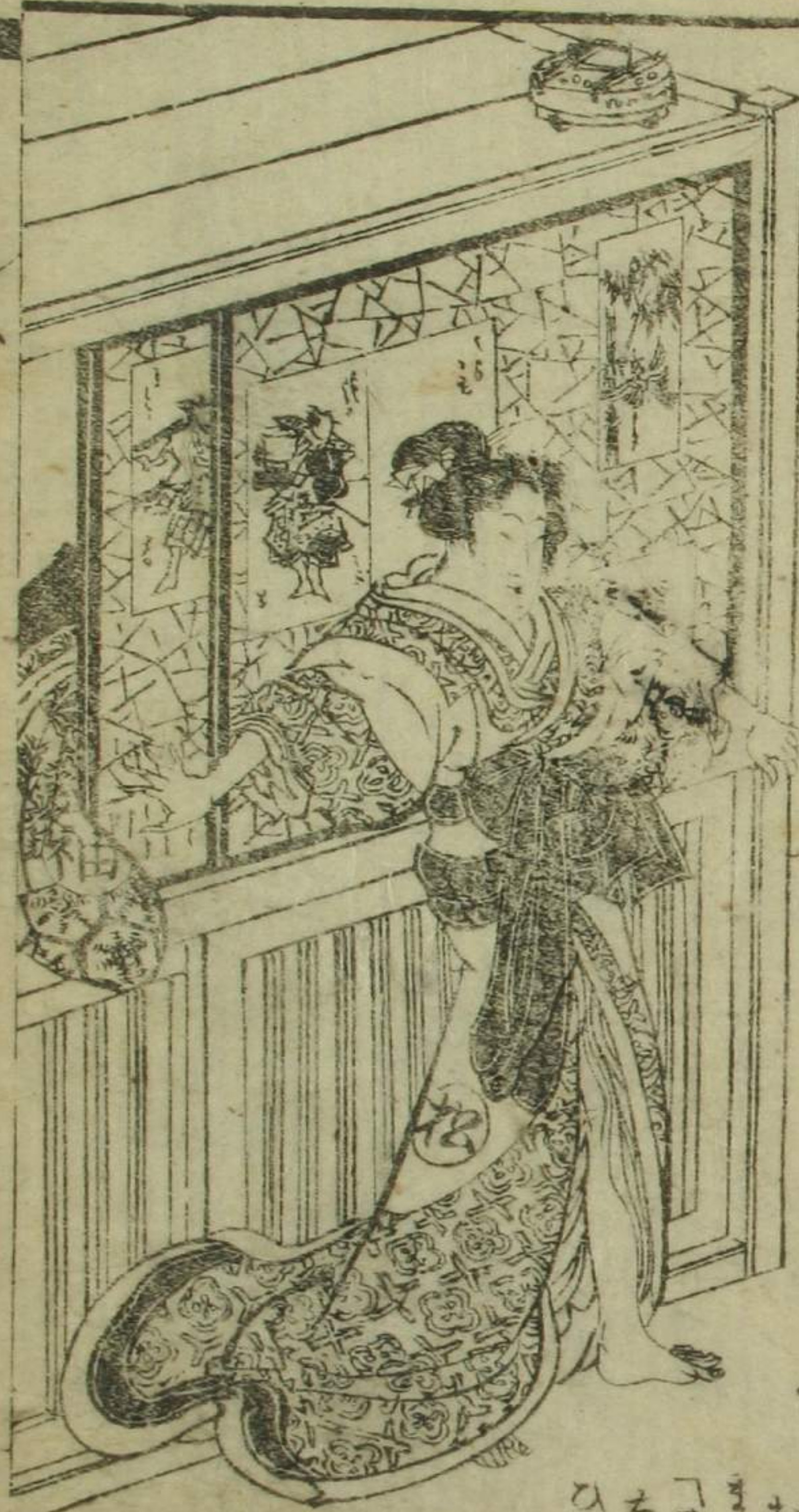
お松さん  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた



お松さん  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

お松さん  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた

お松さん  
あつた  
あつた  
あつた  
あつた



松山よいづくし  
 いんちあつてん文  
 せんせいのういんち  
 あつてんちのういんち  
 松山よいづくし  
 いんちあつてん文  
 せんせいのういんち  
 あつてんちのういんち

「あつてんちのういんち  
 いんちあつてん文  
 せんせいのういんち  
 あつてんちのういんち」

「あつてんちのういんち  
 いんちあつてん文  
 せんせいのういんち  
 あつてんちのういんち」

「あつてんちのういんち  
 いんちあつてん文  
 せんせいのういんち  
 あつてんちのういんち」



「あつてんちのういんち  
 いんちあつてん文  
 せんせいのういんち  
 あつてんちのういんち」



「あつてんちのういんち  
 いんちあつてん文  
 せんせいのういんち  
 あつてんちのういんち」





八之卷



「おくのうち  
おのまらぢひ  
よあり  
そのる  
よの  
よの  
「こりや  
ゆんきせ」

「おのまらぢひ  
よあり  
そのる  
よの  
よの  
「こりや  
ゆんきせ」

「まゝのまらぢひ  
よあり  
そのる  
よの  
よの  
「こりや  
ゆんきせ」



「おのまらぢひ  
よあり  
そのる  
よの  
よの  
「こりや  
ゆんきせ」

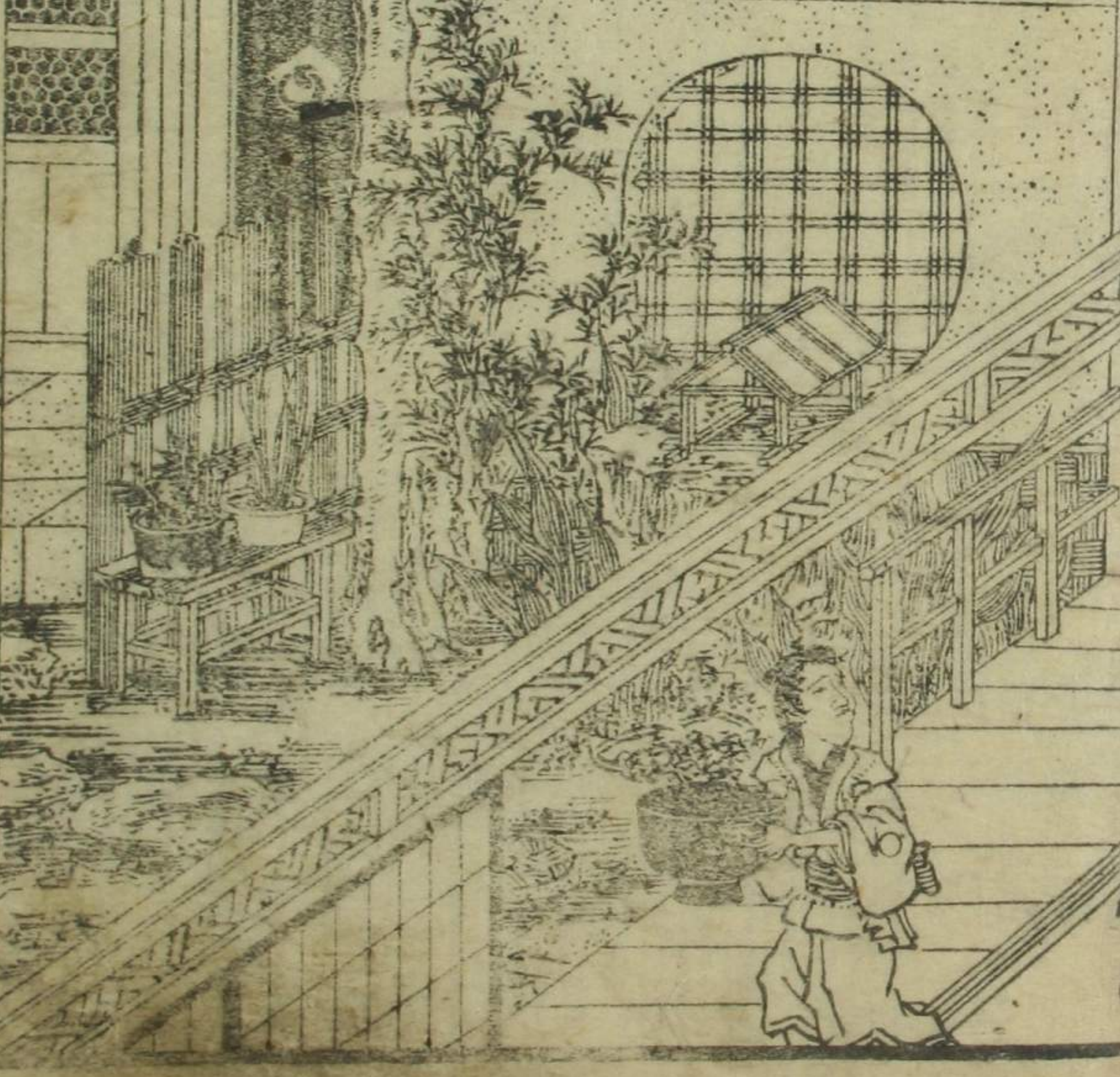
「まゝのまらぢひ  
よあり  
そのる  
よの  
よの  
「こりや  
ゆんきせ」







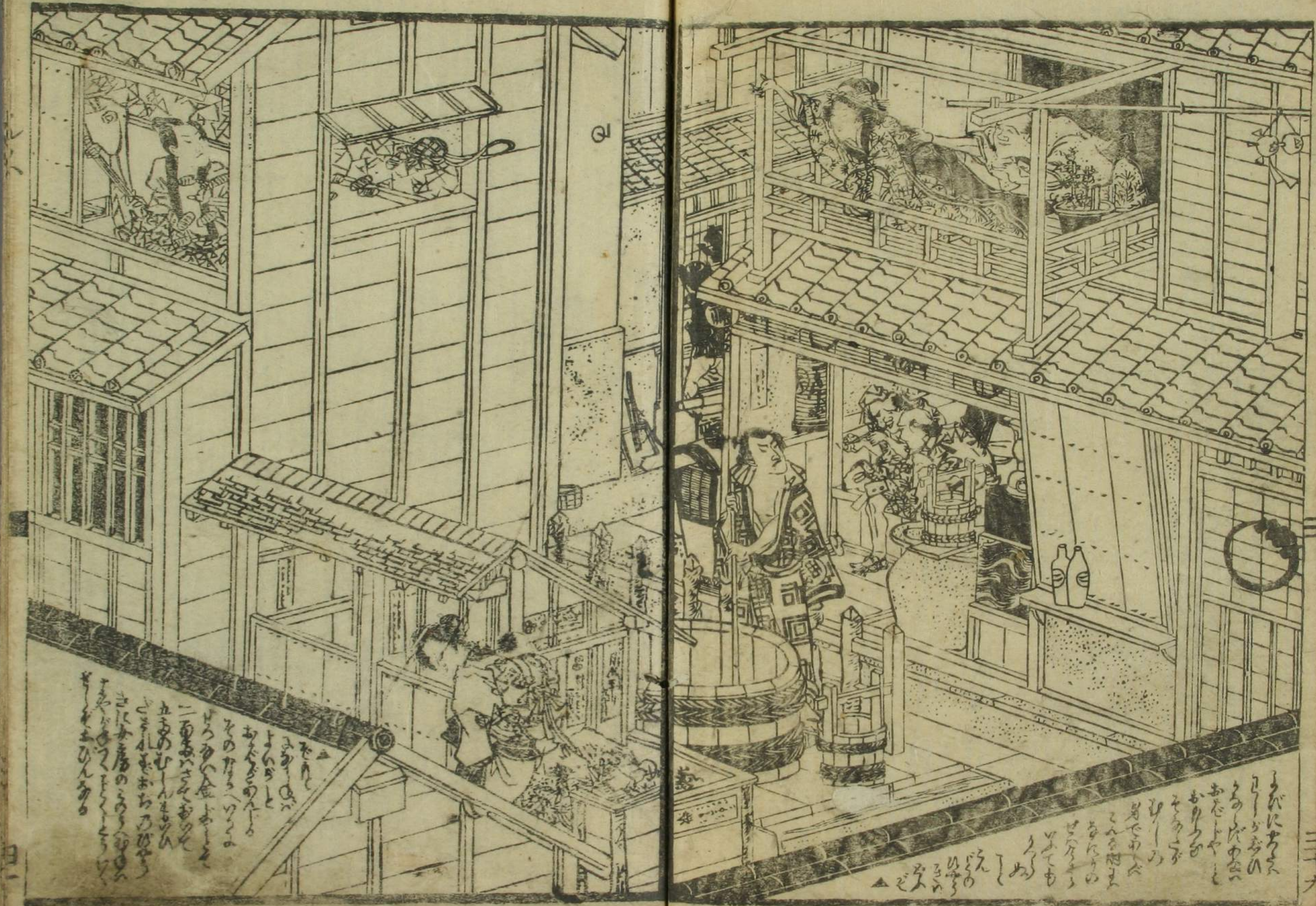
まゝのつきねんきよきやうけん  
 りんがをこればそちがねんい  
 りのねん乃九月まをあついで  
 ねん乃あついのちをしやう  
 月うけさせたらら乃を  
 いちかきまらうのつと  
 おまきくの大んさぬ  
 月うけさせたらら乃を  
 りんがをこればそちがねんい  
 りのねん乃あついのちをしやう  
 月うけさせたらら乃を  
 いちかきまらうのつと  
 おまきくの大んさぬ



池晚蓮芳謝白  
 秋休意深  
 夕秀山夕徳解

いすの  
 夕のり  
 次は  
 わり





一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

三十一  
 一、  
 二、  
 三、  
 四、  
 五、  
 六、  
 七、  
 八、  
 九、  
 十、

九之巻

これら二のあひだ  
りて久しうあつたてまつりて...  
ついでに...  
ついでに...  
ついでに...



ついでに...  
ついでに...  
ついでに...



ついでに...  
ついでに...  
ついでに...



▲梅づくし  
 名のりてさるる  
 二のりてさるる  
 入るれはつんま  
 久しきつてえん  
 二のりてさるる  
 ぬかすをねし  
 二のりてさるる  
 ぬかすをねし  
 二のりてさるる  
 ぬかすをねし

あまのり  
 入る  
 古

あまのり  
 入る  
 古







# 千 祥 萬 積



# 進 寶 日 慶



江戸

四十五

此倫さう  
久他乃乃  
十月首  
りて久まむ  
きむのそ  
ねむりて

山東京山作  
雄齋歌川國貞画

筆耕橋本徳瓶

山形  
巴乃紋  
取工 小泉新八  
せんがりひ  
あーあ

▲京橋店吉例の  
○讀書丸一冊一巻  
○新刊三巻のなと入  
○新刊三巻のなと入  
○新刊三巻のなと入



